

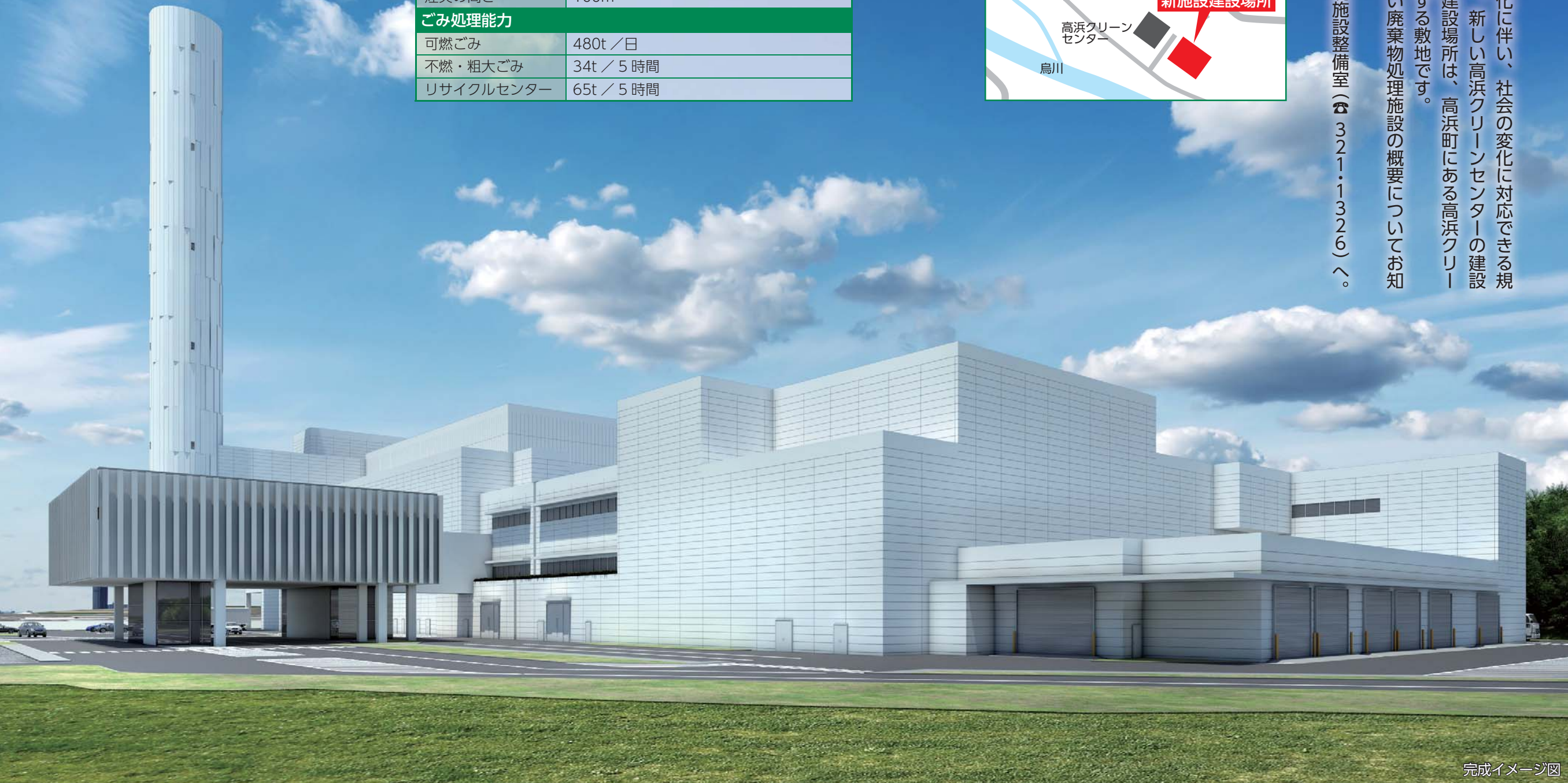
高浜クリーンセンターを建て替えて

市は、施設の老朽化に伴い、社会の変化に対応できる規模と能力を備えた、新しい高浜クリーンセンターの建設を進めています。建設場所は、高浜町にある高浜クリーンセンターに隣接する敷地です。

今回号では、新しい廃棄物処理施設の概要についてお知らせします。
問い合わせは、環境施設整備室（☎321・1326）へ。



施設の概要	
構造	鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄骨造)
規模	地上5階・地下1階
延床面積	約3万㎡
建物の高さ	約36m
煙突の高さ	100m
ごみ処理能力	
可燃ごみ	480t/日
不燃・粗大ごみ	34t/5時間
リサイクルセンター	65t/5時間



完成イメージ図

昭和63年から使われている現在の高浜クリーンセンターは、30年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいます。市は、新しい高浜クリーンセンターの建設を進めています。

災害などにも対応可能な余力ある処理施設に

施設は、鉄筋コンクリート造(一部、鉄骨鉄筋コンクリート造と鉄骨造)です。地上5階・地下1階建てで、延床面積は約3万平方メートル。建物の高さは約36メートル、煙突の高さは100メートルです。

災害などに備えて、ごみ処理能力に余力を設定。急に発生したごみの受け入れにも対応できます。

景観や環境に配慮

外観は、白を基調としたデザインで、周囲の景観との調和を図ります。
年末年始などごみが多く出る

る時期の、搬入車両による施設周辺の渋滞を緩和するため、計量台や搬入場所を増設する他、車両が待機するスペースを確保します。排出ガスの基準については、公害を防止するため、法令で定められたものよりも厳しい、独自の基準値としました。周辺の生活や自然に配慮する、環境にやさしい施設を目指します。

見学コースを整備

余熱を発電などに活用

建物内には、環境への関心と理解を深められるよう、ごみの処理工程の見学や、発電などの体験ができるコースを設けます。

また、ごみの焼却で発生する余熱を利用して発電を行います。発電した電力は施設内で使用する他、余った分は売電していく予定です。ごみを焼却する熱で発電することで、二酸化炭素の排出削減につながります。高浜長寿センターなどの周辺施設にも、余熱を利用した温水を供給する予定です。

令和3年度から本工事を進め、令和5年度内の完成を目指します。